

ポットカーネーションの育て方

より長くお楽しみいただくために



ご存知でしたか？ポットカーネーションは光が大好きなんです！



まずはじめに

梱包資材が付いている場合は、取り除きましょう。ビニールなどを付けたままにしておきますと株元が蒸れたり、カビが発生しやすくなります。

置き場所

花が咲いている間は...

日光を好むので、できれば日当たりの良い屋外に置きましょう！
カーネーションは太陽が大好きな植物です。日当たりが良いとより長く楽しめます。室内でお楽しみいただきたい場合は、できるだけ明るい窓辺に置き、1日に数時間は屋外に出して太陽の光に当てましょう。

花が終わっても...

カーネーションの理想の温度は 10℃～25℃で、高温多湿に弱い植物です。夏に直射日光が当たると、温度が上がりすぎてダメージを受けてしまいます。真夏は半日陰の涼しい場所で、それ以外の期間は日当たりの良い場所に置いてください。また、寒さには強いので冬越しも可能です。

肥料

カーネーションは、肥料も大好きです！

購入後すぐに市販の固形肥料（プロミック錠剤など）を与えてください。さらに液体肥料（ハイポネックスなど）を週に1回与えましょう。特に、花をたくさん咲かせる時期は肥料が足りなくなりますので、液体肥料をしっかりと与えましょう。

水やり

土の表面が乾いたら、鉢底から水が流れ出るくらいたっぷり与えます。
花をたくさん咲かせる時期は土も乾きやすいです。乾かしすぎて萎れさせてしまうと株にとって大きなダメージとなり、蕾が開かなくなってしまう原因となります。萎れる前に水をあげましょう。花や葉に水がかからないように株元からそっと水を与えます。根が腐ってしまいますので、鉢皿に水を溜めたままにしないよう注意しましょう！

咲き終わった花

枯れた葉や咲き終わった花は見た目も悪く、病気の原因にもなります。また、咲き終わった花を取り除くことで次の花が開きやすくなります。こまめに取り除きましょう。



手でつまんで取り除けます。



秋にもう一度きれいなカーネーションを楽しむために!

切り戻し

花が終わったら、株元から5～10cmくらいの高さで茎を切ります。切り戻すことで、秋にもう一度花を咲かせる事もできます。



切り戻す前と後



切りこむ位置：脇に新芽を残した状態でカットします。



切り口にはベンレートやトップジンなどの殺菌剤（ホームセンター等で販売）を散布することをおすすめします。

全体を切り戻した状態

植え替え

一回り大きな鉢に植え替えるか、地植えにしましょう。市販の培養土を使用します。鉢から株をすっぱり抜いて根をくずさずに植えます。

病虫害の管理

アブラムシやダニがつきやすいので、見つけたら市販の殺虫スプレーで退治しましょう。枯れた葉や咲き終わった花は病気の原因になります。こまめに取り除きましょう。梅雨の時期は特に注意が必要です。



グランルージュ

肥料

市販の固形肥料（プロミック錠剤など）を1ヶ月に1回程度与えます。株が生育してくるにしたがって、肥料も多く必要になってきます。株が大きくなってきたら液肥も与えるようにしましょう。



例えば、プロミック錠剤の場合、12cmのポットで1ヶ月に1個、15cmで2個程度が適量です。粉末の化成肥料は株の周りに2～3カ所、指先でつまんで置くようにしましょう。

水やり

水のやり過ぎは病気のもとになります。

土の表面が乾いたら、鉢の底から水が流れ出るくらいたっぷりやりましょう。地植えの場合は、あまり水分が多いと株元から腐ることがありますので、やや乾燥気味に育てましょう。切り戻し後は水のやり過ぎに注意してください。花や葉が一気に少なくなるので、水の消費量も一気に減ります。

その後、新芽の生育に伴って土も乾きやすくなっていくので、成長具合を見ながら表土が乾いたら水をあげるようにしましょう。